

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市なのはなホーム	
2 指定管理者	社会福祉法人なのはな会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 4,995人(前年度比117%) 令和3年度 4,282人(前年度比93%) 令和2年度 4,596人(前年度比87%)	
	《事業》 児童発達支援事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 68,977千円 (64,645千円) ・ その他市が負担した費用 18千円 (1,578千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 72,646千円 (59,716千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年2月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営にあたっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 個人情報の取扱いについては、管理責任者を定め、職員間で意識啓発を行うなど、適切な体制で管理しているほか、各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練の実施など、利用者の安全に配慮した運営に努めている。 経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設の保守点検や清掃を丁寧に行っており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、職員会議・研修等により人材育成を図るとともに情報共有に努め、職員全体でのサービス向上を目指している。また、意見箱の設置や、アンケートの実施等で利用者のニーズ把握に努め、利用者の意見を取り入れた施設運営を心掛けている。 家族からの要望や相談にできる限り寄り添い、適切に対応するための体制を整えている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画を詳細に作成し、定期的に見直しを行っているほか、利用者1人1人の個別課題を職員で共有し、振り返り評価を行い、個々の特性を踏まえたより効果的な療育を実施できるよう努めている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
<p>新型コロナウイルス感染防止のための手指消毒や日々の検温等を行い、行事等も縮小しすすめてきた。保護者へは情報を迅速に提供し理解をいただきながら安心して通える体制を整えてきた。</p> <p>障がいの診断のつかない子どもから医療的ケアを必要とする重複障がいの子どもまで幅広く受け入れ、就学前の一貫した療育を進めてきた。</p> <p>週5日間の毎日通園の中で子どもに合わせた通い方を探り、期待する活動と安心して通える場所ができたことで登園日数をのばし、生活リズムを整え、生活の安定へつなげてきた。年齢は、1歳から6歳までと幅広いため年齢で分けた3クラス編成とした。年齢・発達・障がいを捉えて個別の課題を設定し保護者と共有し取り組んできた。また、小集団の中で子どもが主体的に生活や遊びに向かう力をつけてきた。</p> <p>家族支援においては、定期的な面談以外にも随時相談を受け家族の取り巻く状況を丁寧に聞き取り必要に応じて延長預かり保育を行い家族の安定につなげてきた。また、日々の保育の子どもの姿を通して子ども理解を進め、保護者研修、保育参観やクラス懇談会などで子どもの発達を共有し、見通しをもって子育てへ向かえるようにつなげてきた。保護者向けに療育のねらいや取り組みを冊子にまとめて配布することで療育の基本を理解してもらいすすめることができた。</p> <p>地域支援においては、常勤専従の地域相談員を配置することにより、活動が広がった。地域の発達・子育てに心配のある親子との早期の出会いの場として“園庭開放”“遊びの広場”など新たに取り組みスムーズな相談につなげてきた。施設訪問支援では、小規模保育園などへの定期訪問を広げ保育士と保育内容について検討を重ねることができた。</p> <p>職員の育成においては、法人内での階層別研修や幼児施設研修等を行った。外部研修で全国大会での実践発表を行い、全国の先生方から意見をいただき学びの場となった。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和4年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>児童の年齢、発達、障害特性、生活環境に合わせた療育の実現を図っている。地域支援においては、地域の子育て支援施設との連携、情報共有に努め、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的な取り組みを行っている。</p> <p>また、保護者のニーズに寄り添った定期的な保護者勉強会を開催したり、保護者が相談しやすい体制を整え、丁寧に相談に応じている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課